



# もやいの力

## 子育てキャッチフレーズ決定! 「進んで みんなで 最後まで」

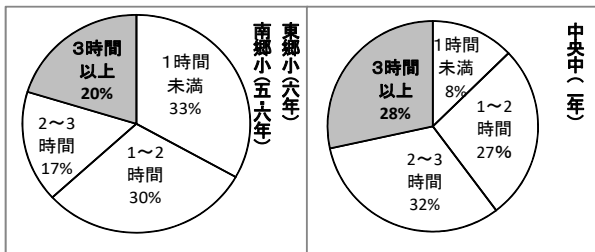
コミュニティ・スクールを進めていく方針を決めたり、活動のアイデアを出したりして、中心的役割を果たしていくのが学園運営協議会です。本年度第4回目の協議会を1月30日(木)に東郷小学校で行いました。その話し合いの中で、秋に行ったアンケートを基に決めた「自主・自律」と「自尊尊重」の心を育てること」を重点にして、学校だけでなく家庭・地域の皆さんが意識して活動を組み立てたり、子供と接したりしていく「絵がかりの子育て(児童、生徒の育成)」を展開していこうということになりました。

子供たちの育成については、知・徳・体の調和がとれたバランスの良い人間形成が大切ですが、令和4年度までの3年間を一つの区切りとして、心の育成に重点を置いて「進んで表現し、活動する子」「自他を大切にできる子」の育成に努めていきます。合言葉は、「進んで みんなで 最後まで」です。1年生にもわかるように、子供も大人も皆が意識できるように考えたキャッチフレーズです。家庭や地域の中でも「進んでできているか」「みんなでできているか」「最後までできているか」という視点で見ていただき、子供たちへの声かけや指導に当たっていただくと絵がかりな体制が整っていくと思います。

## これは心配です!

### スマートフォン使用調査から見えてきたこと

学園内の養護教諭の先生方が協力して、中期(小学5・6年、中学1年の計308名)の子を対象にスマートフォン等の電子機器の使用についての調査をしました。「使ったことがない」と答えた人は、全体で5名と、ごくわずかだったので、ほぼ全員の子の使用状況になります。



【1日にどれくらいの時間、スマホなどをあつかいますか】

調査の結果から、2つのことがとても心配になりました。1つは、**使用時間がとても長いこと**です。ほぼ毎日使っている子が多い中で、約3分の1の子が1日に3時間以上使用しています。(グラフ参照)長時間の使用は、視力や記憶力の低下など、健康への悪影響を指摘する研究もたくさん発表されています。もう1つは、**使い方の約束事がないこと**です。ルールのある家庭は、小学校で6割、中学校では4割程度です。しかも「ルールは決めているが、守っていない」という子もいます。つまり、子供が自由にスマホを使える環境になっているということです。知らない人とも情報のやりとりができるスマホです。小中学生の場合、保護者の管理下で使用させることが大切なことです。つまり、使用時間を決めたり、いつでもやりとりの内容が確認できるようにしたりするなどのルールを決め守らせることです。御家庭の中でもう一度チェックしてみてください。

## これぞ地域の力!

1月28日(火)に、東郷・南郷のコミセンが主催して、両小学校6年生を対象にした自転車教室が行われました。2ヶ月後には中学校入学となり、大半の子供たちが、自転車通学をするようになります。徒歩での通学に比べると危険な場面に遭遇することも増え、登下校中の安全が心配されるところです。

この心配を少しでも減らそうと動き出してくださったのが両コミセン役員の方々で、今年で3回目を迎えます。当日は、それぞれの学校から徒歩で中央中学校へ集まり、体育館を使って行われました。内容は、宗像警察署の警察官の方からの交通ルールやマナーの話とコースを使った実技、そして、生徒会役員の生徒による話です。

実技の前には、この教室に協力してくださっている宗像サイクルの方から自転車の安全点検の仕方等の話がありました。パンクを防ぐためにもタイヤの空気はしっかり入れることなど、具体的な話に子供たちは聞き入っていました。実技では、設定されたコースを2グループに分かれて1人ずつ走行し、安全確認の仕方や交差点での二段階右折の仕方等の練習をしました。最後に生徒会の役員の皆さんから、通学路で特に注意する所を写真を見せながら紹介するなど、体験を基にした話があり、大変有意義な会になりました。行き返りの引率や会場準備、その他御指導、御支援をくださったスタッフの皆さん、ありがとうございました。



自転車点検のポイントの話



設定コースを試乗する6年生

### 保護者の皆様へ

自転車は、子供たちにとって、交通手段となる大事な乗り物ですが、乗り方を一つ間違えると大きな事故にもつながります。以下のことが主なルールになりますので、再度守られているかをお子様と話し合ってみましょう。

- 乗る前にライトやブレーキなどがきちんと作用するかを点検すること
- 自転車は、車道を通ることが基本で、左側通行であること  
(13歳未満は、歩道を通ることができですが、歩行者優先です。)
- 信号のある交差点では、2段階右折をしなければならないこと
- 自転車の乗り降りをする時は、後ろをしっかり確認すること
- 2人乗りや並んで乗って(並走)は、いけないこと
- 学校のきまりとして、小学3年生までは、道路で乗ることはできないこと
- ヘルメットを着用することが望ましい(努力義務)こと  
(中学生の登下校時は、必ず着用しなければなりません。(校則))

※詳しいルールについては、福岡県警HP(サイト内検索 自転車)に掲載されています。

